



WOOD FRIENDS

第42期 BUSINESS REPORT
2023.06.01 ~ 2024.05.31

株主の皆さまにおかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。
当社グループ第42期連結累計期間（2023年6月1日から2024年5月31日）の事業概要をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における愛知県の戸建住宅市場は、物価上昇に伴う実質賃金の低下による消費者の低調な購買意欲等により、需給のバランスが崩れた状況となりました。これに起因し、同市場での完成在庫は年間を通して高い水準で推移する等、厳しい環境が継続しました。

このような状況下、当社グループは41期に過剰在庫を抱え、42期はその課題解決に終始することとなりました。建材事業は、戸建住宅事業の生産調整の影響を直接的に受け、グループ外の受注確保を進めましたが収益改善には至りませんでした。これまでの中核事業である住宅事業での著しく悪化した収益構造を早期に立て直すことが、急務であると考えます。

これらの課題に対して、戸建住宅事業の基本方針は、「総量」から「高付加価値」に転換します。エリア・立地を厳選しつつ、当社独自建材の商品化や生活提案を含めた独自性のある戸建商品確立し、事業の立て直しを図ります。併せて、非住宅分野の営業活動に注力して、中規模木造建築の受注を拡げてまいります。また、建材事業においては国産集成材を市場に広く供給することが重要だと考えております。輸入材が中心となっている構造材市場・その他建材市場において、国産材を使うメリットを訴求し、当社グループのシェアを拡げていきたいと考えております。

一方、安定的に収益を確保している余暇事業においては、常にソフト・ハードの改善を行い、引き続き収益を確保するとともに、新たな事業機会を探ります。また、比較的投資効率が高い都市事業は、不動産特定共同事業である「信長ファンド」を中核として投下資本の比率を高めていく所存です。

当社グループは、本年6月1日付で持株会社体制へ移行しました。経営資源の多くを占めていた住宅事業を子会社化したことにより、ガバナンスの維持・強化のためには、これまでとは異なるグループ運営を行う必要があると考えております。また、持株会社として住宅事業をはじめとした各事業へ適切に経営資源を配分するとともに、各事業における投下資本効率の向上を目指し、それぞれの市場で独自に発展できるグループ体制を構築してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、これまでと変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年8月

取締役社長 林 知秀



CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS

連結業績ハイライト

営業の経過および成果

当社の取り組み

住宅事業では、これまで戸建分譲住宅のシェア拡大を目指し、積極的な用地取得を進めてまいりましたが、一部において商品化に時間およびコストを要する用地を取得したこと、市場の需要を的確に捉えた住宅商品の供給ができなかったこと等により、当連結会計年度は販売用在庫が基準を大きく上回る状況で開始しました。

このような状況下、財政状態の改善を最優先課題として掲げ、用地仕入および住宅着工の制限を行うとともに、販売期間が長期化した在庫の販売価格を見直す等、販売活動にも注力しました。

上記の取り組みの結果、厳しい市況の影響等により戸建住宅の販売戸数については702戸（前期比28.3%減）となりましたが、棚卸資産は適正範囲内に収まり前期比62.4%減、有利子負債は前期比44.3%減とそれぞれ大幅に減少しました。

しかし、住宅生産活動の制限を行ったことに加え、販売価格の見直しを行った

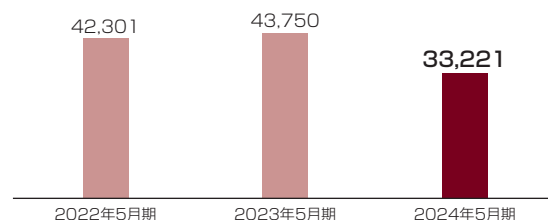
ため、住宅事業における収益性は著しく悪化しました。さらに、住宅生産活動の制限の結果、住宅部材の製造・販売を行う株式会社フォレストノートでの工場稼働率も著しく低下しました。

過剰在庫の処理に迫られた1年ではありましたが、今後の戸建住宅商品の収益性を回復するための施策として、用地仕入基準の見直しを行うとともに、商品改善ならびにコスト削減活動にも注力しました。当該商品の供給は第4四半期会計期間より一部開始しております。

一方で、余暇事業においては、ゴルフ場運営による収益が安定的に推移するとともに、ホテル運営ではインバウンド需要の回復により来客数が前期比で増加するなど、業績は安定的に推移しました。

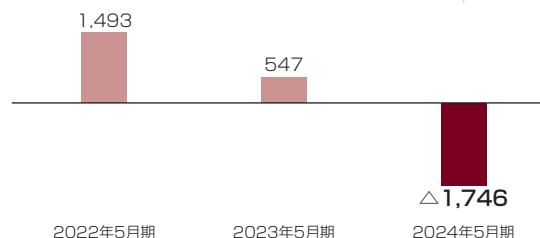
売上高（単位：百万円）

33,221 百万円（前年同期比24.1%減）



営業利益（単位：百万円）

△1,746 百万円（前年同期比―）



経常利益（単位：百万円）

△2,070 百万円（前年同期比―）



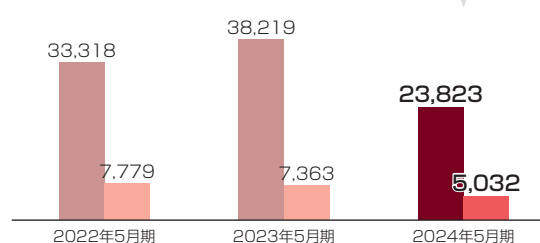
親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）

△2,367 百万円（前年同期比―）



総資産・純資産（単位：百万円）

23,823 百万円 / **5,032** 百万円



1株当たり当期純利益（単位：円）

△1,623.83 円（前年同期比―）



CONSOLIDATED SEGMENT OVERVIEW

セグメント概況

住宅事業

売上高 **29,101** 百万円 前年同期比 **27.4%減** ▼



分譲住宅事業

- 今の時代に合った暮らし方の提案と設計から、岐阜工場での部材生産までが規格化・工業化された合理的なシステムに加え、天然木材を使ったオリジナル建材の素材感を大切にすることで、自然素材だからこそ叶う住宅を安定した品質と優れたコストパフォーマンスで提供いたします。

規格・注文住宅事業

- 商品訴求と価格訴求をさらに深掘りしたWEBサイトにより「製造小売り」体制を深化させ、用地仕入れ能力を活かした豊富な土地情報と、累計12,000戸の実績に裏付けされた技術・ノウハウを活かす多様なプランからお選びいただくことができる新しいタイプの規格型注文住宅を提供しています。

建設資材事業

- 岐阜工場では、柱・横架材・羽柄材のプレカット加工や集成材の生産を行っております。また、木製外壁材・WALL WOODや木製サッシ・WINDOW WOODなどの木質建材の開発・製造も行っており、これらの建設資材については、自社で生産する戸建住宅での使用にとどまらず、工務店・プレカットメーカー・商社等へ販路を拡大し、売上・収益の工場を目指してまいります。

余暇事業

売上高 **2,712** 百万円 前年同期比 **7.1%増** ▲

ゴルフ事業

- 愛知県初のPFI事業（愛知県森林公園ゴルフ場施設整備等事業）の指定管理者として、2007年4月よりウッドフレンズ森林公園ゴルフ場を運営しています。また、2011年4月から愛知県森林公園、2018年4月からはウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部の指定管理者にも選定され運営を行っています。



ホテル事業

- 住宅事業で培ってきた独自の木造建築デザインやノウハウを活かし、年々需要が高まるインバウンド需要を見据え、岐阜県高山市に日本の精神文化「ZEN（禅）」の思想を基本とした木造ホテルを建設・運営しております。

都市事業

売上高 **1,468** 百万円 前年同期比 **17.3%増** ▲

アセットマネジメント事業

- 適切な不動産運用を行い、不動産市場と地域経済の活性化を目指します。クラウドファンディング「信長ファンディング」を運営し、不動産の小口販売を行うことにより、不動産投資参加者を増やします。

福祉系施設プランニング事業

- 運営事業者と協業し、ナーシングホームをはじめとした福祉系施設を収益物件化します。



住宅事業 **87.5%**

連結売上高

33,221 百万円

前年同期比 **24.1%減**

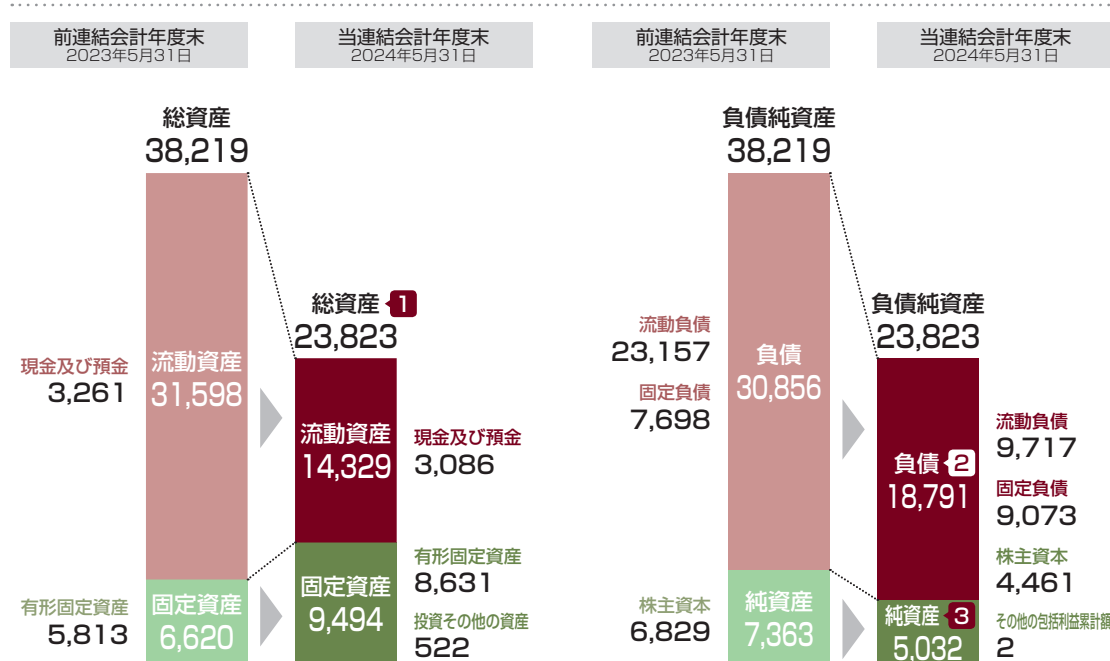
余暇事業 **8.1%**

都市事業 **4.4%**

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



解説

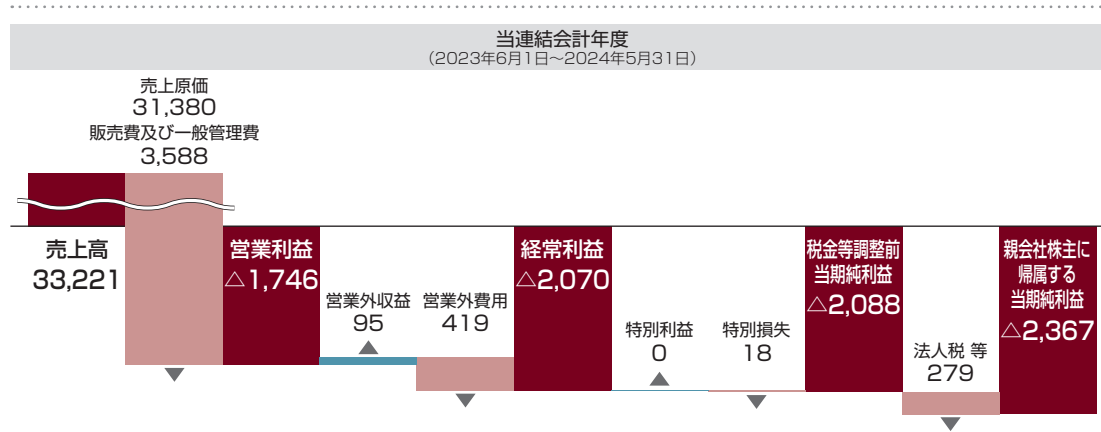
- ① 資産合計は、棚卸資産の売却による減少を主な要因として前連結会計年度と比較し14,395百万円減少し、23,823百万円（前期比37.7%減）となりました。
- ② 負債合計は、棚卸資産の売却に伴う借入金の減少を主な要因として前連結会計年度と比較し12,065百万円減少し、18,791百万円（前期比39.1%減）となりました。
- ③ 純資産合計は、親会社株主に帰属する当期純損失の計上により前連結会計年度と比較して2,330百万円減少し、5,032百万円（前期比31.6%減）となりました。

解説

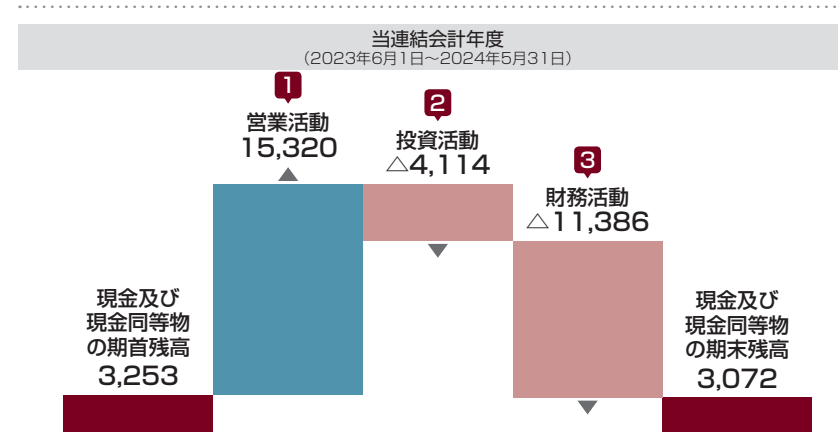
- ① 営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の減少を主な要因として15,320百万円の収入（前期は6,312百万円の支出）となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フローは、製材工場の建設に伴う有形固定資産の取得による支出を主な要因として4,114百万円の支出（前期比102.6%増）となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の売却に伴う借入金の返済による支出を主な要因として11,386百万円の支出（前期は6,912百万円の収入）となりました。

上記①～③により現金及び現金同等物は181百万円減少し、当連結会計年度末残高は3,072百万円（前期比5.6%減）となりました。

■ 連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



1 持株会社体制への移行

当社グループは時代に生かされている企業として経済社会へ適正に参画し、持続的利益を追い求めていくとともに、文化軸においても独自の価値を創出していくことが社会的使命であると考えており、企業として『より美しく』を経営理念に掲げています。

少子高齢化、人口減などの社会変化に伴い住宅市場の縮小が現実化しているなか、既存事業である住宅事業の競争力と独自性を強化し、コスト、品質およびサービスにおいてさらに商品性を磨くことが必要であると考えております。また、長期的な観点で利益貢献および環境貢献を目指す大型製材工場投資に着手しており、木質資源を多様に利用する事業モデルの構築を進めております。さらに、中長期的には住宅事業に接する事業である「非住宅木造」、「都市木造」等の建設事業を伸長させていく方針です。

このような状況を鑑みた結果、当社グループは持株会社体制に移行することにより、社会環境、経営環境等の変化に機動的に対応できる経営体制を構築することが必要不可欠であるとの判断に至りました。持株会社を中核として更なるガバナンスの強化、事業の採算性および事業責任の明確化によりグループ各社の自立と連携を図りながら、企業価値の向上に取り組んでまいります。

2 製材工場 本稼働へ向けて

2023年6月に着工した美濃加茂製材工場は、選木機棟、製材機棟、乾燥機、ボイラー棟、モルダール棟、と工事が順調に進みました。木造4階建ての事務所棟は2024年8月に完成します。現在メインのキャンター製材機の試運転が進められ、当社の掲げる「木質カスケード事業」の実現に向け、2024年9月の工場本格稼働を目指しています。



Webを
チェック

木質資源カスケード トピックス

検索



3 余暇事業の業績好調

余暇事業において、ホテル事業はインバウンド需要が回復し稼働率が上昇したことでお客さまの8割は外国人旅行者となり、日本の伝統文化と非日常を感じると同時にリラックスできる空間と、ご好評をいただいております。また、PFI事業および指定管理者として運営をしているウッドフレンズ森林公園ゴルフ場、愛知県森林公園、ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部においても、多彩なイベントを開催しており、数多くのご来場をいただいております。両ゴルフ場では、早朝から夕刻まで様々なプレイスタイルでのご利用をいただいております。加えてウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部ではナイター営業も行うことで、初心者から上級者まで幅広くご利用をいただいております。

4 ナーシングホーム第1号完成

福祉系施設プランニング事業にて、2023年11月より工事を進めておりましたナーシングホーム第1号が完成いたしました。

木造2階建て、延床面積は801㎡。食堂や浴室を中心とした水廻りや事務室は1階に、個室は1階に11室、2階に19室の計30室です。

長年にわたる住宅事業で培った、空間やファサードデザインのノウハウを随所に活かした、やさしさと心地よさが詰まった建物です。

当社は、住宅事業において推進してきた木造建築の工業化と木質建築部材の加工技術を活かし、中規模木造建築分野にも取り組んでいます。

木造都市建築をはじめとする社会における木材の多様な利用を増やすことで、森林資源の有効活用と森林循環を促進し、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。



その他のトピックスは当社ホームページをご覧ください！

Webを
チェック

ウッドフレンズ トピックス

検索



CORPORATE PROFILE

会社概要（2024年5月31日時点）

商 設 資 社 本	本 員	号 立 金 数 社	株式会社ウッドフレンズ 1982年11月26日 279,125,000円 154名（289名） ※（ ）内は連結会社を含む社員数		役 員 構 成	代表取締役 会長 前田 和彦 （森林公園ゴルフ場運営株式会社 代表取締役） 代表取締役 社長 林 知秀 （株式会社プロパティウッド 代表取締役） （株式会社ウッドコンストラクション 代表取締役） 取締役 池田 豪 （株式会社フォレストノート 代表取締役） 社外取締役 小笠原 剛 取締役（監査等委員） 伊藤 嘉浩 社外取締役（監査等委員） 片桐 正博 社外取締役（監査等委員） 三輪 勝年 執行役員 山田 修 執行役員 平嶋 豊三 執行役員 春日 隆		
			〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目5番3号 KDX名古屋栄ビル2F TEL 052-249-3503（代表） FAX 052-249-4267					
主 要 な 事 業 所			名古屋東展示場 名古屋市中守山区大字下志段味字廻間145番7 HOTEL WOOD 高山 岐阜県高山市上二之町80-2 岐阜支店 岐阜県養老郡養老町大坪宇田中15番9号 名古屋港ゴルフ倶楽部 愛知県弥富市富浜一丁目4番					
子 会 社			森林公園ゴルフ場運営株式会社 株式会社リアルウッドマーケティング 株式会社プロパティウッド		株式会社フォレストノート 株式会社ウッドコンストラクション 株式会社ランバーランド			
取 引 銀 行			愛知銀行 愛知県信用農業協同組合連合会 愛知信用金庫 いちい信用金庫 伊予銀行 大垣共立銀行 蒲郡信用金庫 関西みらい銀行 岐阜信用金庫 岐阜県信用農業協同組合連合会 三十三銀行 十六銀行 商工組合中央金庫 関信用金庫 瀬戸信用金庫 第四北越銀行 高山信用金庫 知多信用金庫 中京銀行		東濃信用金庫 豊田信用金庫 名古屋銀行 日本政策投資銀行 八十二銀行 飛騨信用組合 百五銀行 百十四銀行 広島銀行 福岡銀行 福邦銀行 碧海信用金庫 北陸銀行 みずほ銀行 三井住友銀行 三井住友信託銀行 三菱UFJ銀行 山口銀行 りそな銀行 （五十音順）		事 業 許 可 番 号	
					特定建設業 愛知県知事許可（特-3）第40178号 宅地建物取引業 国土交通大臣免許（5）第6013号 一級建築士事務所 愛知県知事登録（い-2）第5644号			

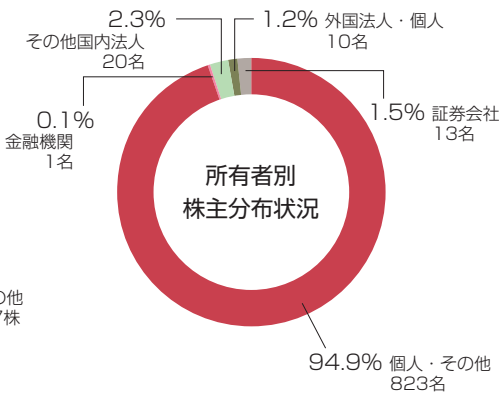
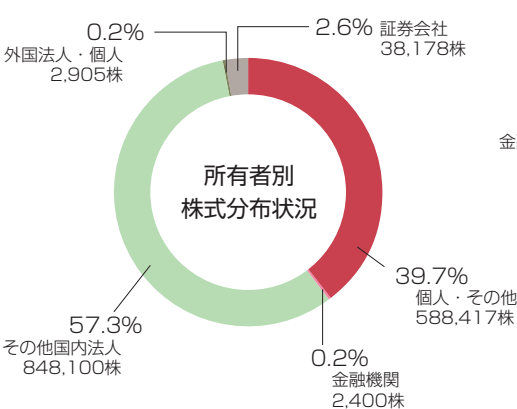
株式の状況（2024年5月31日時点）

発行可能株式総数	4,800,000株
発行済株式の総数（自己株式を含め）	1,480,000株
株主数	867名

大株主

株主名	持株数（株）	議決権比率（％）
ベストフレンズ有限会社	616,200	42.2
株式会社東邦レオホールディングス	127,900	8.7
前田和彦	44,200	3.0
前田扶美子	44,200	3.0
橘俊夫	44,100	3.0
松岡明	44,000	3.0
柴田労	40,000	2.7
林知秀	40,000	2.7
株式会社エステックス	32,700	2.2
橘かおり	23,500	1.6
一般財団法人レオ財団	23,500	1.6

株式分布状況



※自己株式数21,917株を含んでおります。

株主メモ

事業年度	6月1日から翌年5月31日まで
配当金受領株主確定日	5月31日 なお、中間配当を実施する場合の株主の確定日は、11月30日といたします。
定時株主総会	8月
公告方法	電子公告 ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告のホームページアドレス https://www.woodfriends.co.jp/ir/e-public-notice/ 貸借対照表掲載のホームページ https://www.woodfriends.co.jp/ir/settlement-accounts/
会計監査人	ふじみ監査法人 2023年9月12日開催の監査等委員会において、ふじみ監査法人（旧名古屋監査法人）を一時会計監査人に選任し、同日付で就任しておりますが、2024年8月27日開催の第42回定時株主総会において、ふじみ監査法人を改めて会計監査人に選任をお願いする予定です。
株主名簿管理人（特別口座管理機関）	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵送物送付先（電話照会先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

（お知らせ）

- 住所変更等のお申出先について
株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。